



THINK & CREATE

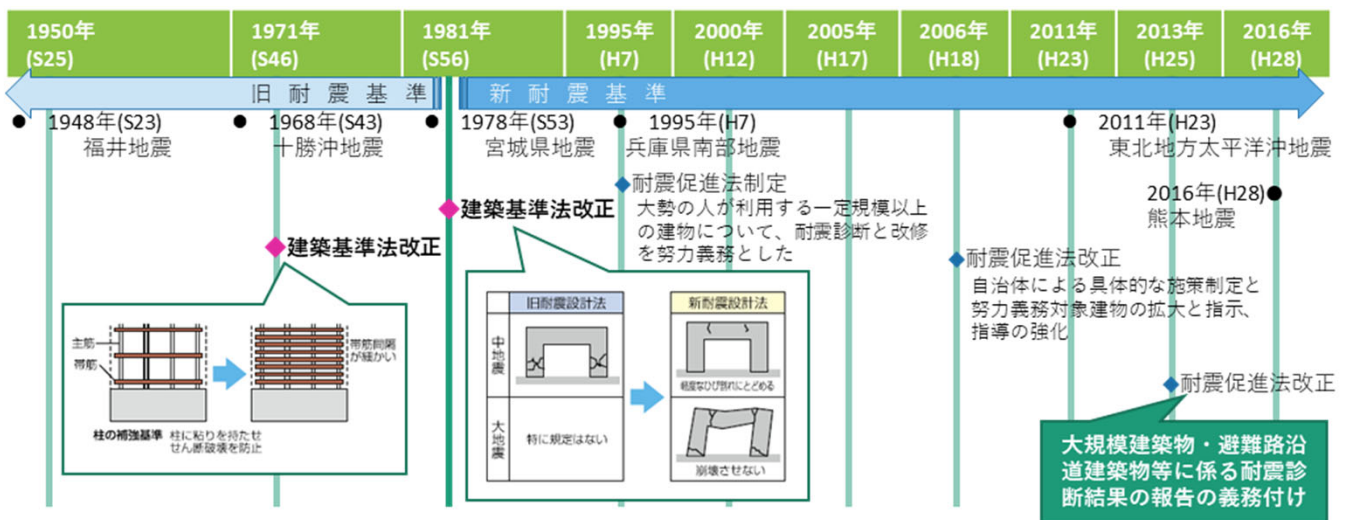
人を想い、未来を造る。



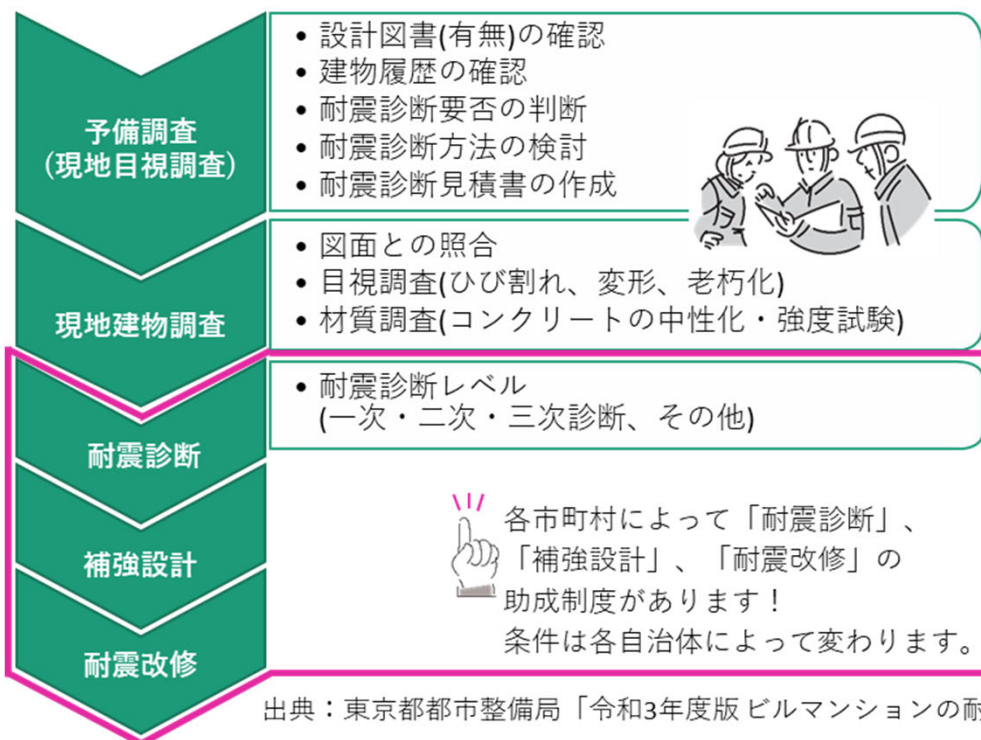
耐震診断とは

既存の建築物で旧耐震基準で設計され耐震性能を保有していない建物を、現行の構造基準（新耐震基準）で耐震性の有無を確認することです。
また、新耐震基準で建てられた建物においても劣化等が懸念される場合は耐震診断をされる事をお勧めいたします。

耐震基準の変遷



耐震診断から耐震改修への流れ



東日本大震災の建物被災状況
出典：国交省Webページ
<https://www.mlit.go.jp/common/000991561.pdf>



THINK & CREATE

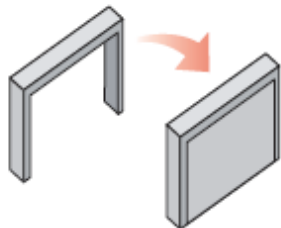
人を想い、未来を造る。



耐震改修工法例

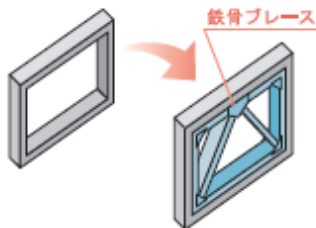
後打ち壁の増設

新たな壁を鉄筋コンクリート等で増設し耐震補強を行います。建物の内部、外部を問わずに設置できます。



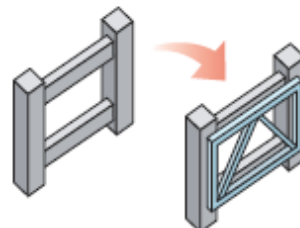
鉄骨枠組補強

柱・梁に囲まれた中に鉄骨プレースを増設することにより耐震補強を行います。開口部を残しながら耐震性能を向上させることが可能です。



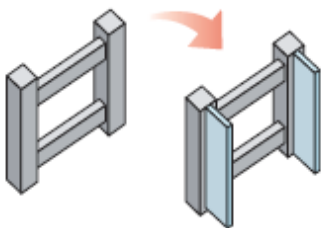
外付け鉄骨補強

建物の外側に鉄骨プレースを増設することにより耐震補強を行います。既設の壁やサッシの解体が少なく済みます。



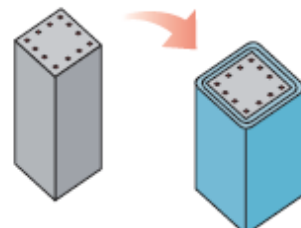
バットレスの増設

耐震壁などの構造躯体を建物の外部に増設することで、耐震改修を行います。建物周囲や敷地に余裕がある場合に適しています。



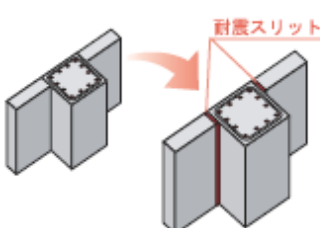
柱巻き付け補強

既存の柱に繊維シートや鋼板を巻きつける方法で耐震補強を行います。マンション等、各住戸等に対応する場合に適しています。



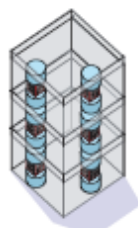
耐震スリットの 신설

鉄筋コンクリート造の既存建物の柱の近くに隙間を設けて柱の粘り強さを向上させます。これ以外の補強工法を組み合わせる行うことが一般的です。



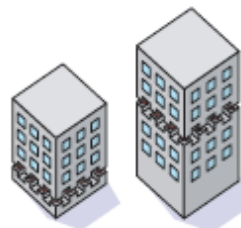
制震機構の組込

制震補強は制震ダンパーなどで、建物に影響を与える地震力を吸収することにより、構造体の損傷低減を図ります。



免震構造化

免震装置を建物の基礎下や中間階に設けることで地震力の建物への入力を大幅に低減することにより、構造体の損傷低減を図ります。



出典：東京都都市整備局「令和3年度版 ビルマンションの耐震化読本」

弊社実績



改修・耐震事例（亀井町ビル）



新築・免震事例（高松電気ビル）

まずはご相談ください！

(株)四電技術コンサルタント 建築部：087-887-2300